



## 衆議院議員 とがし博之 1019通信 — 永田町から —

ごあいさつ

皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、衆議院議員として国会に議席を得ておよそ4ヶ月となりました。日頃の温かいご支援に改めて厚くお礼申し上げます。

現在、私は衆議院においては経済産業委員会、東日本大震災復興特別委員会、海賊テロ特別委員会へ所属し、自民党においては地方組織・議員総局次長などの役職を拝命し国が抱える諸問題の解決に懸命に取り組み始めたところです。

年明けと共に安倍内閣の強いメッセージによって、円も株も日ごとに息を吹き返し、デフレ脱却への道筋がみえてまいりました。

但し、景気回復にむけた経済成長戦略をはじめとする政治課題は山積しており、よりスピード感を持って課題解決に全力で取り組むことが国民から問われております。なかでも、TPP交渉に関しましては、昨年の総選挙の際に自由民主党の公約である《政府が、「聖域なき関税撤廃」を前提とする限り、交渉参加に反対する。》等の6項目の約束を掲げて選挙を戦いました。その考え方や気持ちに、今もいささかの変わりはありません。農林水産業を中心とする秋田県にとって、仮に農林水産業が無条件で他国との競争にさらされれば、一次産業は壊滅的な打撃を受けることは必至であり、そもそも市場経済の原則だけで議論すべきではないと考えております。

仮に、政府の判断でTPP交渉参加の判断をするならば、日本の国益について最優先で取り組み、農林水産分野の重要項目を始め、医療分野の国民皆保険制度等の聖域の確保に全力を尽くすべきであり、その確保が出来ない場合は脱退るべきであると考えております。

自由民主党は、常に緊張感と持続した集中力をもって国民の負託に応え、決して期待を裏切ることなく、「強い日本」を取り戻すために大きな成果を必ずや積み上げてまいります。

浅学非才の私ではありますが、ふるさと秋田に軸足を置きながら、国政の場で国民の暮らしと安全を守るべく、渾身の力を振り絞って与えられた職責を懸命に努め上げてまいる覚悟ですので、これからも変わらぬご厚情をお願い申し上げます。

衆議院議員 富樫博之

復興へ更なる加速、  
日本海側に新たな国土軸を!  
またなしの「景気回復」に全力

TPP参加条件  
6項目に妥協無し!



●JAのTPP反対のデモ



●林 芳正農林水産大臣への要望



●JA中央会TPP反対の要請集会



●この冬の豪雪対応のため、早速佐竹知事と連携し、国土交通省道路局長へ要望書を提出。(H25.1.11)  
速やかに社会資本整備総合交付金として予算化が図られた。



●穂積志秋田市長と総務省へ同行し、豪雪被害対応の要望・要請を求め、速やかに予算化が図られた。